

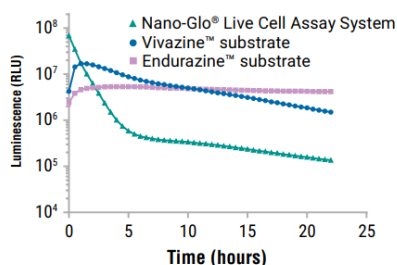
高発光 レポーター・タンパク質タグのNanoLuc のリアルタイム測定に！

Nano-Glo[®] ライブセルアッセイ試薬

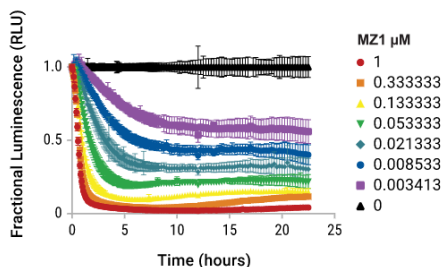
Nano-Glo Live Cell Assay System は生細胞のまま発光を測定する1液添加方式の非細胞溶解性の試薬です。NanoLuc[®] および NanoBiT[®] の検出の他、NanoBRET[™] や NanoLuc[®] 融合タンパク質の生細胞イメージングにも使用できます。Nano-Glo[®] Live Cell Substrate は付属の Dilution Buffer で希釈して Nano-Glo[®] Live Cell Reagent を調製し、培地中に直接添加することで、細胞生存性を損なわずに最長2時間まで連続した発光モニタリングが行えます。Endurazine[™]、Vivazine[™] は数時間から数日にわたる長時間発光モニタリングが可能であり、内在レベルのタンパク質測定も可能な感度を有します。

NanoLuc[®] または NanoBiT[®] レポーター活性を数時間から数日にわたり生細胞検出

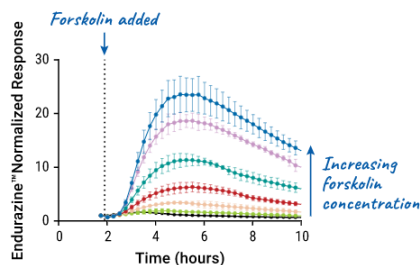
- シグナルの安定性が飛躍的に向上し、レポーター活性のリアルタイム-カイネティック分析が可能に
- 同じサンプルを用いた簡便な長時間応答性タイムコース分析に
- 内在レベルのタンパク質測定が可能な高感度（過剰発現不要）



各ライブセルアッセイの発光特性の比較



PROTAC 処理後の内在性 HIBIT-BRD4 タンパク質の分解カイネティクス測定
LgBiT を安定発現する HEK293 細胞の内在性 BRD4 遺伝子座に HIBIT を挿入した。
Nano-Glo[®] Endurazine[™] 基質を含む CO₂ 非依存性培地で、細胞を濃度を変えた MZ1 で処理した。



NanoLuc[®] 転写レポーター活性の経時変化の測定
HEK293 細胞に cAMP 応答配列 (CRE) および NlucP を含むレポーターベクターをドランスフェクションし、0 時点で Endurazine[™] 基質を 2 時間後に様々な濃度のフォルスコリンを添加し応答性を発光シグナルとして測定した。

ライブセルによるカイネティック

アッセイのすすめ www.promega.co.jp/go?20002



レポーター & タンパク質アッセイをはじめ、細胞生存・毒性試験、代謝マーカー測定などすべてリアルタイムで測定できます！

ライブセルアッセイに最適な GloMax[®] の無償レンタルサービスもご利用ください。
<https://www.promega.co.jp/rentamax/>

製品名	サイズ	カタログ番号
Nano-Glo [®] Live Cell Assay System	100 回分	N2011
	1,000 回分	N2012
	10,000 回分	N2013
Nano-Glo [®] Vivazine [™] Substrate	0.1 ml	N2580
	1 ml	N2581
	10 ml	N2582
Nano-Glo [®] Endurazine [™] Substrate	0.1 ml	N2570
	1 ml	N2571
Nano-Glo [®] Extended Live Cell Substrate Trial Pack	1 ml	N2572
	0.2 ml	N2590

(Endurazine[™] および Vivazine[™] 各 0.1ml)

プロメガ株式会社

日本語ウェブサイト: www.promega.jp

テクニカルサービス部:

Tel. 03-3669-7981 Fax. 03-3669-7982

Email. prometec@jp.promega.com

本社 〒103-0011
東京都中央区日本橋大伝馬町14-15 マツモビル
Tel. 03-3669-7981 / Fax. 03-3669-7982